

## (2) きょう土の発展<sup>はってん</sup>につくした人々

### 喜多方の発展につくした人々

そのほかどんな人々が、どのように喜多方の発展につくしたのか図書館などで調べてみましょう。

#### 〈堺さんの調べた人物〉



はずめまもんぞう  
蓮沼門三



はずめまもんぞう やまと めい  
蓮沼門三は、現在の山都町に明治15年に生まれました。

小さいころ今の岩月町にうつり住みました。地元<sup>じもと</sup>の学校を卒業後、東京ではん学校に入学し、そこで、友だちと修養団<sup>しゅうようだん</sup>をつくり、貧しい人たちのために進んで奉仕活動を行いました。昭和47年には喜多方市<sup>めいよしみん</sup>の名誉市民にも選ばれています。

#### 〈岩田君の調べた人物〉

うりゅういわ こ ぶんせい  
瓜生岩子は、文政12年に北町に生まれました。夫や母に先立たれた岩子は大変悲<sup>かな</sup>しみましたが、世の中には不幸<sup>ふこう</sup>な人が多いことを思い、それらの人のためにつくそうと決心しました。

会津で起きたぼしん戦争<sup>せんそう</sup>では、敵<sup>てき</sup>、味方<sup>みかた</sup>の別なく傷ついた人をおんごしました。また、しせつをつくって貧しい人や親のない子供たちのために手をさしのべました。



うりゅういわ こ  
瓜生岩子

